

「ははは、そうか、君は自分を王子扱いしないワシのことを好いてくれておるのじゃな。それは光栄じゃ。でもそれはある意味贅沢なことかも知れんな」マグワートが言った。「え？贅沢なこと？」ウイザットが返す。

「そうじゃ、もしも王子に生まれたかった人が聞いたら、そう思うじやろ。この世には様々な身の上の人間が居て、毎日食べる為にクタクタになる迄働き、疲れ果てて眠ることをただひたすら繰り返すしかない境遇に、否応なしに生まれた者もある。人が哲学的になれるのは、ある程度衣食住が成り立っている時じや。そうではない場合、まずは生きることになり、悩むエナジーさえも残ってはおらん」

「確かに王子様に生まれたら、恵まれた立場に居ても、そのことへの感謝よりも、窮屈さのほうに気持ちがいつてしまうことがあるかも知れないわ。そしてありのままの自分が在りたいと願う。その気持ちは私、何となく解る気がするわ」ウイザットが答える前にマジヨリアルが口を開いた。

「隣の芝生は青く見えると言うでな。人は自分には無いものをねだるのじゃよ」マグワートが再び話し始めた。「例えば、仕事を失って路頭に迷いそうになつて居る時、多少条件の悪い仕事であっても、見付ければ人はああ良かったと思ひ、その仕事を貰えたことに感謝をする。しかし、暫くその仕事を貰えている内に、その仕事を貰えてい

ることへの感謝の気持ちは薄らぎ、不満のほうに気持ちがいつてしまう。そして他所(よそ)の芝生を見て、羨ましく思ひ始める。それは向上心にも繋がっている場合もあるのよ、一概に批判は出来ないが、仕事があつたと見付からないで困っている人からすれば贅沢な悩みじや」マグワートは肩をすくめ、更に「王子であることも同じじや。今は君は王子であるが故にそれを窮屈と感じ、こうやってたまにお城を抜け出して気分転換をしておる。しかし、万一、王子という立場を本当に追われてしまひ、食べるものにも困るようになったら、どんなに窮屈でも王子に戻りたいと思うじやろ。今は王子という立場の上で成り立つた贅沢な自由をほんのつかの間味わつて居るからこそ、気持ちにゆとりが持てるが、その立場が根底から崩れてしまったとしたら：果たして今と同じように感じるかのう」と続けた。

その言葉にウイザットは少し気恥ずかしい様子の表情を浮かべ、何も答えないうまま下を向いた。

「ははは、ワシは何も君を責めている訳ではないぞ。人があるのまの自分を生きるということは、等身大の自分を知るといふことだと言いたいんじやよ」

「等身大の自分？」ウイザットとマジヨリアルが声を合わせて聞き返した。



「そうじや。先程の例え話の続きじやが、ワシが言いたいことは、仕事を失って路頭に迷いそうになつた時に貰えた多少条件の悪い仕事を、いつまでも続けるという意味ではないんじや。その仕事を貰えたことに感謝をしつつ、他の条件の仕事を探してもバチは当たらない。問題はお手は当たらない。問題は感謝を失くし、不平不満に強くアテンションをし、更には自分の能力を過大評価して他所の芝生の青さという幻想にばかり目を奪われることじやよ。それは現状の自分まま成長せずに留まるといふ意味ではなく、まずは等身大の自分というものをよく知つた上で、自分の置かれている立場や状況に感謝を持ち、その上でありのままの自分を生きることを追求する必要があるという意味じや。そうすれば、人は真に成長していけると思わなにかね？」マグワートはそう言つて、静かに頷くウイザットとマジヨリアルを交互に見ながら白髭を撫でた。部屋には食欲をそそる良い匂いがコトコトと漂ひ始めていた。 つづく。

チャネリング相談

Q よく、「何をしたら良いのか分からない、或いは自分には何が向いているんですか？」という質問に「わくわくすることをやりなさい」とアドバイスする方がいらつしゃいますが、わくわくすることなんてそうはないのが現状です。
(San Diego 在住 Aさん)

A 確かにそうかも知れせんね。私も同様のご相談を受けることが多いですが、例えばわくわくはしない迄も、「多少なりとも気持ち良く感じることをする」ということではどうでしょうか？ わくわくすることはそんなにないとしても、多少なりとも気持ち良いこと、気持ちが明るくなることはある筈です。または、少なくとも大嫌いではないと感じられることから始めても良いかも知れせん。

最初からわくわくしないとやる価値が無い、自分には向いていないと切り捨てずに、様々なことを少なくとも大嫌いではない範囲でトライしてみると、必ずや見えてくる世界があると思います。そこで、これは違うなと思えばまた別のことをやってみるのです。

実は人生はそういう地道なことの積み重ねの中から、ある時扉が開くことも多いものですから、一足飛びにわくわくしなければいけないとは思わずに、地道に行動する、トライし続けるという姿勢が大切であると私は思います。

そして、例えその時点で無駄と思えることであっても、違うなと思ったことでも、それは何かの形でご自身に影響を与えていますし、また時間が経ってからその無駄、或いは違うなと思った経験や事柄が、実は人生というジグソーパズルの重要なピースであったと解ることもあります。

ですので、まずは行動してみましよう。行動という波動を動かす行為はとても重要です。宇宙からのギフトは行動する人に届けられるものであると私は信じています。